

1 次試験対策

<教職教養・一般教養対策>

1. 『神奈川・横浜市・川崎市の教養・一般教養』(協同出版)

たまに解答の真偽が微妙+解説がなかったりするけど、傾向をつかむためには大切な一品。勉強を始めた時期に一回一通り解き、終盤に2回くらい計3回解いた。

2. 『教職教養ランナー』(一ツ橋書店)

友達にもらった2年前のもの。過去問を解きながら出たところだけチェックしていくという方式で効率よく覚えていった。教科書代わり。重いので段々持ち運びしなくなり他の本へ。

3. 『教職教養パーフェクトセミナー』(ベネッセ)

友達にもらったもの。今は絶版。過去問+ランナーで調べたことを固めるために毎日持ち歩いていた。軽い。多分3回位解いた。

4. 『教職教養これだけはやっとう』(一ツ橋書店)

過去問の箇所だけ2回くらい解いた。実習校の新卒の先生お薦め。

5. 『教職教養の頻出問題』(時事通信社)

終盤2週間位で2~3回解いた。今思うともっと早くからこれをとけばよかった。問題数が多い+詳しいので教科書代わりにもなる。

6. 『教員養成セミナー』(時事通信社)

神奈川は答申などがでるのでこれで確認。紙上模試なども2回位(試験1週間位前に確認程度で)といった。問題集のみの勉強だと答申関係がチェックできないので、この本は買って損はない。

7. 『神奈川県・横浜市・川崎市対策講座』(東京アカデミー)

6月第3,4週土曜日。2日間にわけて行われる。自分のペースメーターにもなるので非常によかった。どこが弱いかわかるし。数学はこの問題でカバーした。

赤はお薦めです☆

<専門(英語)教養>

TOEICで免除(神奈川は780点から。その他英検・TOEFLでも免除あり。)

始めた時期:

4月から。まずは過去問(上記1)を解き、その答えなどをランナー(上記2)に書き、神奈川の傾向を知る(1週間位かけて。これをやって「これはまずい!」と気付き、エンジンがかかった)。春休み(2-3月)は海外のボランティアに参加する予定だったのでそれまではその準備等にあて全く勉強をしていなかった。

勉強時間:

多くて1日3,4時間。大学が週5日あり、免許取得(現在国語の免許を取得。他教科で英語科免許

を取得見込み)の勉強と共に進んだ。授業の課題やバイトで時間に追われていた。細切れの時間も勉強にあて、どうにか獲得した時間が上の3、4時間。

「長時間勉強している」という周りの声に焦ることも多かったけど、「私は短期集中！」と周りを気にしないように心がけた。また、明らかに点数が取れないのがわかっていたので、模擬試験とか自分が凹むようなことは避けた。模擬試験はある程度力がついてどこに穴があるか知りたいというハイレベルなところまで行っている人が受けるものだ勝手に解釈。

勉強方法：

ひたすら問題を解く。わからないところを書き出すとかノートを作るという時間は一切なかった。解けなかったところに「しるし」をつける。その「しるし」を消すべく問題を解きなおし、**全ての問題集を3循環**できるようにした。

その他：

1. 勉強はほぼ教職教養メイン。一般教養は、音楽と美術は捨て、国語と英語は専門だから大丈夫だろうとふみ過去問のみ。問題は理数社。新たに問題集を解き始める時間も精神的余裕もなかったので、過去問と対策講座の問題を何度も解いた。(特に数学は過去問+対策講座の問題が全て解けるようになるまで解いた)理科は結局あまり何も。。。

【試験日】7月11日(日)・【結果】1次通過(専門：免除 教養：66%)

2. この勉強法は、私の場合専門試験がなかったものでどうにか間に合ったという感じでした。実際の試験では専門試験ができないと難しいようなので、教職の勉強と同じ位、いやそれ以上に専門の勉強をした方がいいと思います。

3. あとはマイペースでいくことが大切だと思います。「一日10時間勉強している」という人が周りに現れるかもしれませんが、結局は周りがどうこうではなく、「自分が何をどれだけやったか」が大切だと思います。自分なりのストレス解消法を持ちマイペースで！

4. 今のようなペースで勉強していかかわからない場合、色々な予備校の年間計画表などを入手し、そのペースにあわせて勉強する方法もあります。私は東京アカデミーの4月生スタートコースの授業内容(日付+何の授業が行なわれるか書いてある)が書かれている紙を入手し、それにあわせて勉強していました。

5. 2次のことも考えて論文や面接対策、討論練習も平行してやっておいた方がいいと思います。できれば多くの人と。私は全く対策をしていなかったのが2次試験期間中非常に焦りまくりました。論文、面接、討論は自分の考えをまとめる効果もあるので、「やっぱり教師になりたい！」とモチベーションあげるためにも大切です☆2週間に1回位のペースでできれば最高！

2次試験

(面接1)8月3日

1. 適性検査

・テープにあわせて解く（30分）かなり不思議系問題。

「私は悪霊にとりつかれている」「私には毒がもられている」「花屋になりたい」「家族が大好きだ」など。YESかNOで答える。素直に答えた方がよい。

2. 模擬授業

面接官2人：受験者8人（AからHさん）：時間10分：授業案必要

* 単元は自分で選べる。受験者を生徒とみたとて指名してもよい。受験者自ら質問してはだめ。

* 模擬授業後、Aさんから順に個人面接（入退室含めて7分）

（模擬授業に関して）

・この単元を選択した理由。・模擬授業で工夫した点。

（英語教師志望者としての質問）

・Oral重視で教えていくか？・3年間通して生徒にどんな力をつけたいか？・英語教師を目指した理由。

（学校教育に関わる問題）

・嫌なクラスにはどう接するか？・一時間全く話さない子へどう接するか？

（面接2）8月11日

1. 論作文

字数1224字：時間60分

テーマ『「使える英語」を身につけさせるために、あなたは英語の授業においてどのような工夫と配慮を行うか。あなたの考えを述べよ』

2. 集団討論

面接官3人：受験者8人（本当は10人、欠席2人）：時間60分：司会なし

テーマ『テレビや雑誌等情報が子どもに与える影響について』

* 初め5分各自考える時間を与えられる。その後Aさんから一人2分自分の意見を述べる。

* 司会のほかにも進行役みたいなことをしてもだめと言われる。

【感想】

大体みんな講師経験に基づき述べていた。一人どうしても自分の意見に固執する人がいて（新たな話題に転換しても元に戻ってしまう）、建設的な討論はできなかった。私は全く発言できず2回しか発言しなかった。

3. 個人面接

面接官3人：受験者1人：時間25分

（面接カードから）

・なぜ国語ではなく英語なのか。担任になったとして30秒で挨拶して下さい

（集団討論について）

・感想

（自己アピール書から）

・神奈川の教育で生かせることをアピールして下さい。→具体的にどう指導するか。

・ 神奈川のふれあい教育についてどれ位知っているか? ・ 学校教育における問題点は? → どう指導するか?

(その他)

・ 部活指導したいか? ・ スポーツの良さとは? ・ 男女平等教育について ・ 「男らしさ」「女らしさ」についてどう思うか? ・ 希望地・職種の確認

【感想】

集団討論の時と同じ面接官。校長、指導主事、PTAの方と思われる。PTAの方のつっこみが非常に厳しく指導力がある教員を求めていると感じた。志望理由に「地元だから」以外の趣旨のことを書いたらめちゃくちゃつっこまれた。あまり詳しくしらないことは書くべきではない。討論から面接までの時間が4時間半ほどあり、面接官も私もかなり疲れていた。面接も25分のところが20分ほどで終わり、確実にこれは落ちたなと思った。

(実技試験) 9月3日

1. リピテーション: ALTが言った文をゆっくりはっきり言う。5問

2. 英語面接

(最初の問題)

・ ここまで来るのにどれ位かかったか。・ 週末は何をしているのか。

(英語教師志望者として)

・ 生徒が流暢に英語を話せるようになるために必要なものは何か。・ 英語を上達させるために何をしているか。

(国際)

・ 日本人が国際的になるために必要なものは何か。・ お正月について説明して下さい。・ 海外で日本文化を3つ紹介するなら?

(その他)

・ 100万円あったらどうするか。・ 今までの挫折経験。そこから学んだこと。

・ なぜ神奈川? ・ 高校時代で印象深い先生は? ・ 長所を教えてください。・ 一番感動したことは?

<2次対策>

【適性検査】なし。

【模擬授業】

・ 予備校の2次対策講座 (東京アカデミー) 7/30

・ 大学の2次対策講座 8/2

◎教育実習は国語で行ったため、この試験での模擬授業が私の初めての英語の授業…。塾などでバイトしたこともなかったので専門だった日本語教育の実習やボランティアが役立った。

【個人面接】

・ 予備校の2次対策講座 (東京アカデミー) 7/30

・ 大学の2次対策講座 8/2

・ 聞かれそうなことを面接ノート (自作) にまとめる。東京アカデミーの人物対策ノートも使用。

・ 教職を目指す友人と集団面接・個人面接の練習をした。(1年前の話ですが)

【論文】

- ・ 友人にもらった東京アカデミーの論文講座の資料を読む。
- ・ 教員養成セミナーの論文講座を読む。
- ・ 英語関係に関する答申を読む。

◎論文の練習は全くしなかった（手がまわらなかった）。内容が英語に関する事という情報を得ていたので「こんなことを聞かれたらこんなことを書こう」という大枠を決めておいた。とりあえず言えることは時間があるうちに論文は書いておくにこしたことはない。

【集団討論】

- ・ 予備校2次対策（東京アカデミー）7/30
- ・ 大学の2次対策講座8/2

◎しかしながらどちらも採点はかなり甘い+学生の甘さがあったのであまり意味がなかった。これこそ早目から教職志望を集めて練習するとよいだろう。後は自分の意見を主張するだけでなく、他の人の話をちゃんと聞く癖をつけた方がよいと思う。しかし、私は全く話せずほぼ聞き役だった。かなり低い評価だったと思う。

【実技】

- ・ 同じ神奈川英語を受ける友人と練習を一日行った。
- ・ 『英語「面接」攻略法』（時事通信）を読んだ。
- ・ 面接ノートで考えをまとめなおす+質問を考えて自分で、英語で答えを書いた。
- ・ シャドーイングで口ならしを行った。AFNを毎日聴いた。

◎思ったより面接は難しくなかった。はっきりわかりやすく話してくれる+何かこちらが戸惑うと言いなおしたりしてくれる。しかし一般で受けた友人は相当難しかったと言っていた。私は海外経験があったので聞きづらい英語に慣れていたので、今回の面接官のような綺麗なわかりやすい英語を易しく感じたのだろう。

【その他】

情報収集の方法

- ① 文部科学省のページ・学習指導要領などからどのような教育が望まれているのか理解した。
- ② インターネット（Yahoo、2ちゃんねる、Fight 教員採用試験など）
- ③ 教員採用試験を受ける友達。
- ④ 書籍『教員養成セミナー』をたまに購入して読んだ。

【やればよかったこと】

- ・ 面接対策・集団討論・論文などは一人でやるよりも多くの人としたほうがいい。回数もできるだけ多いと周りの人の意見やいいところも吸収できるしいいと思う。
- ・ 学校教育の問題に関して、「自分ならどう指導するか？」という視点で接すること。

【ストレス解消方法】

- ・ 読書。毎日学校に行っていたのでその行き帰りで大体文庫本1冊読んだ。